

結果公表用

令和2年度
自己評価報告書の概要

令和 3年 3月17日

大川学園医療福祉専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価	1
基準 1 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2 学校運営.....	3
基準 3 教育活動.....	4
基準 4 学修成果.....	5
基準 5 学生支援.....	6
基準 6 教育環境.....	7
基準 7 学生の募集と受入れ	8
基準 8 財務	9
基準 9 法令等の遵守.....	10
基準 10 社会貢献・地域貢献.....	11

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和2年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>本校は、校訓『自律・協調・奉仕』のもと、国家資格である柔道整復師、鍼灸師、介護福祉士の養成を通し、患者様や利用者様のニーズに即応でき、必要な知識・技術力は勿論のこと、社会人としての自覚、礼節、思い遣り、奉仕精神、幅広い視野で常に向上を目指す発展的能力を身に付け、国家試験合格、地域における医療・介護に携わる一員として活躍できる人材育成を 教育理念として掲げている。本校は、平成8年開校の大川学園福祉教育専門学校と平成15年開校の大川学園医療専門学校が平成17年に統合し、現在の大川学園医療福祉専門学校となった。埼玉県認可の専修学校であり、厚生労働省認定・指定の介護福祉士、柔道整復師の国家資格の養成施設でもある。近年、超高齢社会に突入り高齢者人口の増加等、医療介護の担い手は益々需要が高まってきた中、残念ながら介護職を目指す若者が伸び悩んでいる現状がある。本校は介護福祉学科の歴史が一番長い、全国的に介護福祉士養成施設の減少が見られる中でも、毎年介護福祉士を輩出しており、今後も優秀な介護人材を世に輩出し続けられるように努める。また、医療分野においても同じく優秀な柔道整復師を輩出し続けられるよう努める。学生が国家資格取得を目指す中で、校訓や理念のもと、幅広い知識・技能とともに、社会人としての自覚、礼節、思い遣り、奉仕精神を身に付け人間的に成長できる人材の育成を目指す。また、国家資格取得後も医療・介護の現場において即戦力となって活躍できる人材の育成に力を注ぎ、校訓「自律・協調・奉仕」のもと、実践的技術のみならず、人としての原点に立ち返り、学園での学びを通して患者様や利用者様の心に寄り添うことのできる医療人や福祉人を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生の確保 広報室、教育支援推進室とも連携し、高校訪問、オープンキャンパス、卒業生(同窓会)との連携、介護福祉学科留学生受入れ体制の整備、柔道整復学科女子学生増への取り組み、内部高校生向け講座の実施等、実効ある方策を実施し定員充足を目指す。また、日本語 学校との連携を図り、留学生を受け入れる。 2. 学生指導 学生が安心安全健全に学校生活を送れるよう担任はじめ教職員全体で学生との日々のコミュニケーションを重視する。学習面では、補習や対策講座を通して定期試験や国家試験に向けた指導を引き続き 強化し、国家試験合格率100%を目指す。特に 留学生指導では教育支援推進室、日本語指導講師と密に連携を図り、日本語力向上も目指す。また、実習を効果的に実施出来るよう、備品等を購入し整備する。 3. 職業実践専門課程 介護福祉学科の認可2年目に伴い、要件を欠くことのないように引き続き適正な運営に努める。また、来年度の柔道整復学科申請に向けた準備を進める。 4. 地域貢献 地域行事・各種大会等へのボランティア参加、校舎・校庭・柔道場の開放等、開かれた学校として地域に貢献する。 5. 付帯事業 芳愛鍼灸治療センターを閉じ、芳愛接骨院の更なる拡充に向け、施設設備の充実を図る。介護福祉士実習指導者講習会を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生の確保 広報室、教育支援室との連携のもと、介護福祉学科においては、留学生や委託訓練生の状況もあり、定員を充足することができた。柔道整復学科においては、定員充足とまではいかず課題が残った。 2. 学生指導 コロナ禍での学校生活を余儀なくされつつも、学生は自己管理に努め、1人の感染者も出さずに1年間を終えたことは評価に値する。また、国家試験についても、十分な勉強が出来ない中においても、数人が涙をのんだが、殆どの学生が合格してくれたことは評価できる。 3. 職業実践専門課程 介護福祉学科2年目にもなう学科運営も、適正に行うことができた。また、柔道整復学科申請準備も問題なく進められた。 4. 地域貢献 コロナ禍のため、すべての行事イベントが中止となり思うような活動が出来なかった。 5.付帯事業 介護福祉士実習指導者講習会は中止となった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生の確保 特に柔道整復学科の学生募集についての妙案を今一度検討していきたい。 2. 学生指導 引き続き、コロナ感染防止の徹底指導を行う。国家試験合格に向けての講座等、充実した対策を講じて全員合格を目指す。 3. 職業実践専門課程 介護福祉学科の要件を欠くことのないよう、引き続き適正な運営を行い、柔道整復学科の申請に向けての準備を行う。 4. 地域貢献 コロナが収束し次第、地域行事等のイベントにも関わってきたい。 5. 付帯事業 引き続き、健全な芳愛接骨院の運営に努めていきたい。

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の校訓は『自律・協調・奉仕』、教育理念は、「国家資格である柔道整復師、介護福祉士の養成を通し、患者様や利用者様のニーズに即応でき、必要な知識・技術力は勿論のこと、社会人としての自覚、礼節、思い遣り、奉仕精神、幅広い視野で常に向上を目指す発展的能力を身に付け、国家試験合格、地域における医療・介護に携わる一員として活躍できる人材育成」である。今後も、即戦力となり活躍出来る多くの人材輩出に努める。</p>	<p>【1-1】理念・目的・育成人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理念・目的・育成人材像は定められているか 評価④ 2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか 評価④ 3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 評価③ 4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 評価③

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念に基づく学校の目的実現のため、教職員ともにベクトルをひとつにして取り組んでいる。18 歳人口減少に伴い、志願者確保、就職意欲の醸成、求人先開拓が見直すべき喫緊の課題である。また、留学生を受け入れ初めての卒業生が全員就職決定したことは大きい。今後、定員確保に向けて磐石の学校経営基盤の確保が必要である。</p> <p>運営組織については、諸規程に則り、会議や委員会も適切に開催されており、問題なく運営されている。議事録の整備も適切に行われている。</p> <p>人事、賃金等の処遇面は、規程に則り実施されているので、現状においては問題ないと判断する。今後教職員のモチベーションアップを図る上では、給与体系の見直しも含めた検討も一案として挙げられる。</p> <p>全体の管理運営については、意思決定システムが確立されている。意思決定のプロセスについても、原則それぞれの議事録等で確認できるようになっている。</p> <p>情報システム化を行っているが、十分に活用出来ていないという部分も有るので、そこを含め業務の効率化を考える必要が有る。</p>	<p>【2-2】 運営方針 1 理念等に沿った運営方針を定めているか 評価③</p> <p>【2-3】 事業計画 1 理念等を達成するための事業計画を定めているか 評価③</p> <p>【2-4】 運営組織 1 設置法人の組織運営を適切に行っているか 評価③ 2 学校運営のための組織を整備しているか 評価③</p> <p>【2-5】 人事・給与制度 1 人事・給与に関する制度を整備しているか 評価③</p> <p>【2-6】 意思決定システム 1 意思決定システムを整備しているか 評価③</p> <p>【2-7】 情報システム 1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか 評価④</p>

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界および社会の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。各学科とも国家試験対策に真摯に向き合い、取り組んでいる。</p> <p>学生による授業評価を実施している。各教員には個別にその結果を知らせ、より良い授業を目指すようにしている。</p> <p>学生による授業評価の手法については、記述式としている。今後、本学園の傾向を分析し、項目立てができるように検討中である。また授業評価を授業改善につなげるため、評価項目の精査・見直しも検討中である。</p> <p>成績評価・単位認定の基準は明確になっている。なお、学生が的確(国家試験対応)に学習成果を習得できるように、継続的に見直しもを行っている。</p> <p>当校は、厚生労働省指定養成施設であるため、目標とする国家資格はカリキュラムの上で明確に定められており、資格の取得をサポートできる教育内容になっている。また、学科毎に国家試験担当教員を定め、補講や個別面談を実施している。</p> <p>教員組織については、学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保している。教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応している。教員の専門性を向上させる研修を行っている。非常勤講師の採用基準は明確にされ、法令を遵守している。</p>	<p>【3-8】 目標の設定</p> <p>1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 評価④</p> <p>2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか 評価③</p> <p>【3-9】 教育方法・評価等</p> <p>1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 評価④</p> <p>2 教育課程について外部の意見を反映しているか 評価③</p> <p>3 キャリア教育を実施しているか 評価④</p> <p>4 授業評価を実施しているか 評価③</p> <p>【3-10】 成績評価・単位認定等</p> <p>1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 評価④</p> <p>2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか 評価③</p> <p>【3-11】 資格・免許の取得の指導体制</p> <p>1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 評価④</p> <p>2 資格・免許取得の指導体制はあるか 評価③</p> <p>【3-12】 教員・教員組織</p> <p>1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 評価④</p> <p>2 教員の資質向上への取組を行っているか 評価③</p> <p>3 教員の組織体制を整備しているか 評価③</p>

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の就職に対する意識の向上を図らせる。また、教員・就職担当が協力して新たな求人先を開拓することも課題である。今年度は、両学科の就職ガイダンス等が新型コロナウイルス感染防止の為、実施することが出来ず、学生達が就職活動を行う上での後押しが出来なかった点が残念であった。各学科とも国家試験に合格するだけが目標ではなく、在学中に、色々な経験をし、将来へ向けての技術や知識を身につけていくことが重要である。本校は、平成 8 年に介護福祉学科が、平成 15 年に柔道整復学科・鍼灸学科が開設し、卒業生がそれぞれの業界で活躍している。今後の目標としては、卒業生の動向を調査し、把握できるようにしていきたい。</p>	<p>【4-13】就職率 1 就職率の向上が図られているか 評価④</p> <p>【4-14】資格・免許の取得率 1 資格・免許取得率の向上が図られているか 評価④</p> <p>【4-15】卒業生の社会的評価 1 卒業生の社会的評価を把握しているか 評価③</p>

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職担当の対応、就職先内定までの就職指導についても充実している。また、教員と就職担当との連携も体制が整っている状況である。教員や就職担当の努力により、各学科とも就職先新規開拓が進んでいる。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、就職ガイダンス等が出来なった点が残念である。毎日、各クラスの担任は、学生の様子をうかがい、普段の学校生活及び将来に対して不安を持っている学生、欠席・遅刻・早退が目立つ学生などに対して、クラス担任は、自分の経験を生かし、学生と同じ高さの目線でアドバイスをしている。</p> <p>入学希望者する留学生に対して、体験入学・学校説明会等で、条件面、生活面で困らぬよう、事前に詳しく本人に説明する。また、保護者等対象説明会も実施している。在学途中で帰国してしまい、連絡が取れなくなり、除籍となってしまった留学生もいた。今後、このようなことが起こらないように、対策する必要がある。</p> <p>学生への経済的な支援、学生寮等の整備に関しては、できる範囲の開発・改善が必要であると考え。また、学生に対しての国家試験以外の資格に関しての充実も必要である。</p> <p>不安定な学生や成績不良の学生に対しては、担任が保護者と連絡を取り、意思疎通を図っている。</p> <p>卒業生に関しては、『芳愛会』を充実することが重要だと考えている。</p> <p>社会人経験者に対しては、卒業後、施設・接骨院等、それぞれで活躍できるよう、求人先の新規開拓が重要である。学園創立 75 周年記念事業のひとつとして、図書室をリニューアルし、利用し易い環境にした。</p>	<p>【5-16】 就職等進路</p> <p>1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか 評定④</p> <p>【5-17】 中途退学への対応</p> <p>1 退学率の低減が図られているか 評定③</p> <p>【5-18】 学生相談</p> <p>1 学生相談に関する体制を整備しているか 評定④</p> <p>2 留学生に対する相談体制を整備しているか 評定④</p> <p>【5-19】 学生生活</p> <p>1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 評価⑤</p> <p>2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 評定⑤</p> <p>3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか 評定①</p> <p>4 課外活動に対する支援体制を整備しているか 評定④</p> <p>【5-20】 保護者との連携</p> <p>1 保護者との連携体制を構築しているか 評定④</p> <p>【5-21】 卒業生・社会人</p> <p>1 卒業生への支援体制を整備しているか 評定③</p> <p>2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 評定③</p> <p>3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 評定⑤</p>

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は学生の学校生活に支障がないように整備され、かつ、メンテナンスの体制も生まれ、学生、教職員の施設設備面での安全確保はなされていると評価できる。また、図書館における自習コーナーの整備を行い学習支援を強化した。将来に向けての課題は資金を含むキャンパス整備の実施である。</p> <p>介護福祉学科の校外実習は毎年行っており、卒業後の就職先とのミスマッチをできるだけなくすよう指導している。</p> <p>柔道整復学科も今後、学外実習が始まる為、徐々に整備をしている段階である。</p> <p>生徒教職員の安全確保が第一義であり、それを念頭に防災、防火、事故などに対する危機管理が必要である。</p> <p>地震、火災などの防災・防火に関しては防災・防火訓練などにより意識の高揚を図るように取り組んでいる。生徒が授業の関連で事故等にあった場合の保険対応はできている、自然災害などへの対応の充実が検討課題である。</p>	<p>【6-22】 施設・設備等</p> <p>1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 評価④</p> <p>【6-23】 学外実習・インターンシップ等</p> <p>1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか 評価④</p> <p>【6-24】 防災・安全管理</p> <p>1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 評価④</p> <p>2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 評価③</p>

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>介護福祉学科は留学生と本学園高等学校からの内部進学者で入学者の半数を確保し、一定の成果を見た。しかし、この条件が満たされなければ苦しい状況が予想される。柔道整復学科は募集対象を再度検討し、全員で活動する必要がある。</p> <p>入学選考については適正に実施されている。ただし、仕事の分担がなされている。専門学校教職員が中心となり行っていくべきものとする。</p> <p>学納金については、事務室と連携し行われている。</p>	<p>【7-25】学生募集活動</p> <p>1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 評定④</p> <p>2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか 評定④</p> <p>【7-26】入学選考</p> <p>1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 評定④</p> <p>2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか 評定③</p> <p>【7-27】学納金</p> <p>1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 評定④</p> <p>2 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか 評定④</p>

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校全体での 5 年程度の財政状況の把握には努めており、財政状況は健全であると判断している。数年の入学者数の減少により、決して盤石とは言い難いが、着実に入学者数を伸ばしている。しかし、今後も、定員の確保はもとより抜本的経営改善が必要である。</p> <p>予算については、規程に定められている。年度予算状況についてはまず予算編成方針を決定し、それに基づき予算計画が策定されている。また、中期計画による予算は、計画に沿った適正な予算配分により策定されていると判断している。また、予算の執行は、システムで管理し妥当に執行されている。</p> <p>年間スケジュール表に基づき、監査法人の公認会計士による監査が適時実施されている。</p> <p>私立学校法に基づく財務情報については、閲覧室で公開している。</p>	<p>【8-28】財務基盤</p> <p>1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 評定④</p> <p>2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか 評定④</p> <p>【8-29】予算・収支計画</p> <p>1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 評定④</p> <p>2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか 評定④</p> <p>【8-30】監査</p> <p>1 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか 評定④</p> <p>【8-31】財務情報の公開</p> <p>1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか 評定④</p>

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の教育理念「自立・協調・奉仕」の精神に則り法令等を遵守し、学園の運営を行うことを目標としている。</p> <p>今後は、教職員・学生に対する法令遵守のためのルール作成、啓発活動が必要である。</p> <p>学校法人としての社会的責任を全うするため、個人情報保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正に取り扱うよう努めている。</p> <p>今後は関係する規定を整備するとともに、研修会等を実施し、教職員はもとより学生の意識向上を図っていききたい。</p> <p>学校評価規程を整備し、自己点検・自己評価の体制を確立した。今後、学校関係者評価を経て、改革・改善を図っていく。</p> <p>学校の概要、トピックス等は積極的に情報発信している。</p> <p>「学校評価委員会」・「教育課程編成委員会」等の情報も学園ホームページに公開している。</p>	<p>【9-32】 関係法令、設置基準等の遵守</p> <p>1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか 評定④</p> <p>【9-33】 個人情報保護</p> <p>1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか 評定④</p> <p>【9-34】 学校評価</p> <p>1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 評定⑤</p> <p>2 自己評価結果を公表しているか 評定⑤</p> <p>3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 評定⑤</p> <p>4 学校関係者評価結果を公表しているか 評価⑤</p> <p>【9-35】 教育情報の公開</p> <p>1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか 評定④</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生に関しては、日本語学校への入試に係る書説明の徹底及びオープンキャンパスへの積極参加を促している。</p> <p>活動自体の自粛・延期・中止に伴い、成果報告には至らない。</p> <p>次年度は、全体の動向を踏まえつつ、活発に活動に取り組みたい。</p>	<p>【10-36】社会貢献・地域貢献</p> <p>1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 評定③</p> <p>2 国際交流に取り組んでいるか 評定③</p> <p>【10-37】ボランティア活動</p> <p>1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか 評定③</p>